

事業所向け 平成30年度放課後等デイサービス自己評価

放課後等デイサービス あすなろ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		利用者人数や活動内容に対してスペースが狭い場合はグループに分かれ外出や活動内容を工夫している
	②	職員の配置数は適切であるか	○			最低3名配置されている。個別対応が必要な児童が利用の場合はシフトを調整し人員の配置を適切におこなっている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	されていない。建物の構造上バリアフリーに対応できない部分が多々ある。備品レイアウトを工夫などして補っている。今後も気付いた点があった場合随時整備していく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか。	○			各事業所、申し送りや会議にて振り返りを行い、改善について話し合った内容を都度実施している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			平成29年度からホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は行っていないが、外部講師や発達支援センター職員、コンサルタントなどによる視察訪問を行い評価、改善、職員間の共有は行っている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に社内研修を実施し、外部研修にも積極的に参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			担当者会議（支援者）も行い、しっかりとニーズや課題を分析した上で作成している。また、家庭だけではなく、学校とも積極的に連携を図っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			各活動の委員会や担当者を設けて、定期的な会議を行い立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			事業所ごとに利用児童の様子や反応なども考慮し協議の上固定化しない工夫がなされている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		休日や、長期休暇中は利用者人数や天候等により活動内容の変更が必要な場面があるため、平日ほどきめ細やか設定ができていない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画は作成しているが、利用人数が多いときに個別活動の時間が少ないため改善は必要。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			申し送り時に行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎終了後に、その日の支援者で振り返りを行い共有し、業務日報に記録。全員に周知している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録、業務日報に詳しく記録し、日々行っていることを明確にするよう努力している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い職員間でも共有し、話し合いも行われている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			通所児童の学年齢に合わせたプログラムの他、室内外活動、地域交流も含め複数組み合わせ支援を行っている。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		各事業所の児童発達支援管理責任者が参画している。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○	学校により差はあるが、積極的に連携を図り情報共有等適切に行っている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当児童が現在はいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保護者の了承を得た上で情報共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	該当児童がいないが、今後は連携できる体制を整えていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			訪問視察や、研修を受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		活動の提供は行っていないが、公園遊びや外出活動の中で、一緒に遊ぶ機会はある。今後そういった機会を作っていく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		療育部会・就労部会に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や電話・メール、面談などで保護者と接する機会は作っている。家庭・保護者の状況も考慮しつつ、今後も積極的にコミュニケーションを測っていく。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		講演会・学習会に参加し情報提供しながら、研修会の機会を設けていきたい。
保護者へ説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や改定時等に児童発達支援管理責任者が口頭説明・文書などでしっかりとお伝えしている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談やメール・電話相談など送迎時も含め適切に応じている。自分たちが答えられない悩みの場合には、応じた相談機関の紹介など行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		親子参加イベントを年に数回開催しているが、今年度は茶話会も含め保護者同士の連携支援する機会を多く設定していく。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合は、迅速対応している。苦情対応マニュアルも策定している。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月10日に会報『はつらつだより』を発行している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の持ち出しや取り扱いについて周知徹底している。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		配慮しているが、どの家庭にも同等の配慮をできるよう改善していく。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		ボランティア受け入れや、親子イベントの招待や案内をおこなっている。今後も計画中。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルは策定し周知したが、職員間でしっかりと浸透されていない。読み合わせの機会を設定するなど浸透までの改善を継続的に行っていく。保護者にも同様に周知徹底していく。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		実施しているが、十分とはいえないので機会を増やしていく。
	㉒	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			集団指導の研修参加や伝達研修、外部講師による研修、学期毎の研修を年間研修計画に基づいて実施している。
	㉓	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	現在、記載を必要とするケースはないが、今後の為に会議で協議し、組織的に決定していく。
	㉔	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		該当児童はいるが、指示書はなく、保護者の意向に沿った対応をしている。今後徹底していく。
	㉕	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットを作成した場合は必ず全職員に周知し、いつでも閲覧・記入できるようファイルを設置している。